

きいむんの どろーちゅいむにー

第七回 テーマ パーントゥ

はいさい！キジムンやいざーん♪

みなさんは「パーントゥ」をご存じですか？宮古島の島尻集落において無病息災をもたらす神として知られています。テレビでも、人を追いかけたり顔に泥を塗ったりする姿を見たことがある方もいると思います。今回はこのパーントゥについてお話したいと思います。

島尻集落ではフナハという祭祀が年に3回行われます（フナハは祈願祭とその後の酒宴を意味するようです。

旧暦3月末日～4月1日、5月末日～6月1日、9月吉日2日間）。その中でもパーントゥが登場するのは9月で、パーントゥフナハといいます。パーントゥフナハは二日間行われ、パーントゥは二日間共に夕暮れから登場します。

パーントゥーは、

親（ウヤ）パーントゥ

中（ナカ）パーントゥ

子（フファ）パーントゥ

の3体。それぞれの仮面は、別々の家に保管されています。

※比嘉康雄『神々の古層④ 来訪する鬼 〔パーントゥ・宮古島〕ニライ社 1990年
の表紙画像。

パーントゥーが誕生するまで

パーントゥは集落のはずれにある「ンマリガー」と呼ばれる井戸から誕生します。

①準備

- ・パーントゥの体に巻き付けるための蔓草を集めにいく。キャンやユムンダと呼ばれる蔓草を使用する。
- ・蔓草を固定するために、「ミーピーツナ」と呼ばれる綱も準備する。ミーピーツナはスマリッサという集落を厄払いする行事に使用されるものと同じ綱である。
- ・ンマリンガーの水をさらう。

②パーントゥへ変身！

- ・パーントゥに選ばれた3名の体に蔓草を巻き付け、草が落ちないようにミーピーツナでくくる。顔・腕・足首以外は全て草で覆う。着けおわったら、四方八方から点検をおこなう。
- ・ンマリンガーから泥を取り出し、泥を全身にぬりたくる。
- ・茅の葉の先にマータと呼ばれる魔除けの印を結び、パーントゥの額に差し込む。
- ・ンマリンガーの中に入り、泥につかる。ンマリンガーの泥は、、、臭い。。
- ・最後にグディフという草木で作られた杖を持って。。完成です。

その後、パーントゥは集落へ向かい、各拝所や家々をまわり、泥をつけまくって人々に無病息災をもたらすのです。

今年は10月6日・7日に登場しました。毎年パーントゥを見に行きたいと願いつけて早数年。。来年こそは見に行くぞ！！（沖縄資料・F）

【参考文献】

- ・比嘉康雄『神々の古層④ 来訪する鬼 〔パーントゥ 宮古島〕 ニライ社 1990年
- ・平良市教育委員会編『島尻のパーントゥ調査報告書』 1985年
- ・平良市史編さん委員会編『平良市史 民俗・歌謡』第七巻 資料編5 平良市教育委員会 1987年

